

## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月5日

東

上場会社名 デンカ株式会社 上場取引所  
 コード番号 4061 URL http://www.denka.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山本 学  
 問合せ先責任者 (役職名)コーポレートコミュニケーション部長 (氏名)福岡 智 (TEL)03(5290)5511  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	261,985	△9.2	28,030	16.7	27,299	20.2	18,890	13.1
2020年3月期第3四半期	288,655	△7.0	24,024	△3.2	22,718	△6.4	16,700	△9.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 19,700百万円(27.8%) 2020年3月期第3四半期 15,416百万円(△4.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	219.06	—
2020年3月期第3四半期	193.04	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	524,591	262,815	49.6
2020年3月期	501,448	254,014	50.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 260,236百万円 2020年3月期 250,720百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	60.00	—	65.00	125.00
2021年3月期	—	60.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	65.00	125.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	350,000	△8.1	33,000	4.5	30,000	△0.1	22,000	△3.1	255.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	88,555,840株	2020年3月期	88,555,840株
2021年3月期3Q	2,334,581株	2020年3月期	2,307,067株
2021年3月期3Q	86,233,613株	2020年3月期3Q	86,515,240株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結計算書 第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書 第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9
3. 補足情報	11
2020年度 第3四半期決算概要	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動が大きく制限され、個人消費や輸出が急速に減少しました。また、世界経済も、感染症の世界的な流行により景気が大きく下振れし、極めて厳しい状況となりました。足もとでも感染症が世界各国で再拡大しており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社グループは、企業理念“The Denka Value”を実現すべく、3つの成長ビジョン「スペシャリティーの融合体」「持続的成長」「健全な成長」を掲げ、2018年度より5か年の経営計画「Denka Value-Up」における2つの成長戦略「事業ポートフォリオの変革」と「革新的プロセスの導入」を推進し、業容の拡大と収益性向上に注力いたしました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、電子・先端プロダクツ製品や新型コロナウイルスの抗原迅速診断キット“クイックナビ™ -COVID19Ag”の販売は順調でしたが、全体的には世界的な景気後退による需要減のため販売数量が減少しました。また、原材料価格の下落に応じた販売価格の見直しもあり、売上高は2,619億85百万円と前年同期に比べ266億70百万円(9.2%)の減収となりました。利益面では、成長分野製品の伸長や固定費の削減などにより、営業利益は280億30百万円(前年同期比40億6百万円増、16.7%増益)、経常利益は272億99百万円(前年同期比45億81百万円増、20.2%増益)となり、それぞれ第3四半期連結累計期間として過去最高となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は188億90百万円(前年同期比21億89百万円増、13.1%増益)となりました。

#### <エラストマー・機能樹脂部門>

当部門の売上高は864億20百万円と前年同期に比べ256億98百万円(22.9%)の減収となりました。

クロロプレンゴムの販売は、足もとでは回復傾向に転じてきましたが、感染症拡大などによる世界経済低迷の影響を大きく受け、自動車産業を中心に全般的に生産活動が停滞したことから前年を下回りました。また、スチレンモノマーやデンカシンガポール社のポリスチレン樹脂およびMS樹脂の販売は、原材料価格の下落に応じた販売価格の見直しを行ったことから減収となりました。

#### <インフラ・ソーシャルソリューション部門>

当部門の売上高は383億92百万円と前年同期に比べ28億92百万円(7.0%)の減収となりました。

農業・土木用途向けのコルゲート管の販売は堅調に推移しましたが、セメントや特殊混和材、肥料、耐火物・鉄鋼用材料の販売は、感染症に加え天候不順の影響も受けたことなどから、前年を下回りました。

#### <電子・先端プロダクツ部門>

当部門の売上高は514億94百万円と前年同期に比べ15億69百万円(3.1%)の増収となりました。

球状アルミナや高純度導電性カーボンブラックはxEV関連を中心に販売が伸長し、電子部品・半導体関連分野向け高機能フィルムや球状溶融シリカファイラーも、5G関連やデータセンターの世界的な需要の拡大により好調に推移しました。一方、自動車産業用向けの金属アルミ基板ヒットプレートの販売は概ね前年並となりましたが、高信頼性放熱プレート“アルシンク”は前年を下回りました。

#### <生活・環境プロダクツ部門>

当部門の売上高は255億92百万円と前年同期に比べ25億31百万円(9.0%)の減収となりました。

食品包材用シートおよびその加工品の販売は、テイクアウト需要の増加により概ね堅調に推移しました。一方、プラスチック雨どいおよび合繊かつら用原糸“トヨカロン”、工業用テープの販売は感染症拡大の影響を受け前年を下回りました。

<ライフィノベーション部門>

当部門の売上高は366億11百万円と前年同期に比べ78億78百万円（27.4%）の増収となりました。

インフルエンザワクチンの出荷は、感染症対策として専門家や行政から予防接種を推奨されたこともあり、前年を上回り増収となりました。試薬は、インフルエンザ診断キットなど従来の検査試薬の販売は感染症拡大の影響で受診者数が減少したことなどから、前年を下回りましたが、昨年8月に販売を開始した新型コロナウイルスの抗原迅速診断キット“クイックナビ<sup>TM</sup> -COVID19Ag”は順調に生産、販売を行いました。また、感染症の患者を対象とした抗インフルエンザウイルス薬「アビガン<sup>®</sup>錠」の原料であるマロン酸ジエチルの出荷を行いました。

<その他部門>

当部門の売上高は234億74百万円と前年同期に比べ49億96百万円（17.5%）の減収となりました。

YKアクロス株式会社等の商社は取扱量が前年を下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ231億42百万円増加の5,245億91百万円となりました。流動資産は、売上債権の増加などにより前連結会計年度末に比べ66億21百万円増加の2,050億74百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の増加などにより前連結会計年度末に比べ165億20百万円増加の3,195億16百万円となりました。

負債は、工事未払金の増加などにより前連結会計年度末に比べ143億41百万円増加の2,617億75百万円となりました。

非支配株主持分を含めた純資産は前連結会計年度末に比べ88億1百万円増加して2,628億15百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の50.0%から49.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2020年11月9日に公表した予想数値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,172	25,240
受取手形及び売掛金	85,637	96,298
商品及び製品	52,159	49,561
仕掛品	4,037	3,549
原材料及び貯蔵品	19,582	20,813
その他	8,156	9,863
貸倒引当金	△293	△251
流動資産合計	198,452	205,074
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	62,503	68,169
機械装置及び運搬具（純額）	69,789	71,670
工具、器具及び備品（純額）	4,146	4,430
土地	63,370	63,581
リース資産（純額）	2,260	1,993
建設仮勘定	29,745	35,138
有形固定資産合計	231,815	244,984
無形固定資産		
のれん	7,544	7,211
特許権	523	463
ソフトウェア	1,002	1,091
その他	2,737	2,617
無形固定資産合計	11,808	11,383
投資その他の資産		
投資有価証券	51,200	56,415
長期貸付金	178	169
繰延税金資産	3,160	2,189
その他	4,949	4,492
貸倒引当金	△117	△118
投資その他の資産合計	59,371	63,148
固定資産合計	302,995	319,516
資産合計	501,448	524,591

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,005	40,364
短期借入金	51,929	43,586
コマーシャル・ペーパー	9,000	23,000
1年内返済予定の長期借入金	10,010	10,005
未払法人税等	3,550	3,948
未払消費税等	1,431	252
賞与引当金	2,992	598
その他	38,888	51,783
流動負債合計	160,807	173,539
固定負債		
社債	37,000	37,000
長期借入金	26,400	26,420
繰延税金負債	3,245	3,947
再評価に係る繰延税金負債	8,403	8,403
退職給付に係る負債	7,874	8,801
株式給付引当金	58	74
その他	3,644	3,587
固定負債合計	86,626	88,235
負債合計	247,434	261,775
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,998	36,998
資本剰余金	49,365	49,405
利益剰余金	156,857	164,962
自己株式	△7,593	△7,673
株主資本合計	235,628	243,692
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,691	13,734
繰延ヘッジ損益	△551	△598
土地再評価差額金	10,259	10,259
為替換算調整勘定	△876	△2,291
退職給付に係る調整累計額	△4,429	△4,560
その他の包括利益累計額合計	15,092	16,543
非支配株主持分	3,294	2,579
純資産合計	254,014	262,815
負債純資産合計	501,448	524,591

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	288,655	261,985
売上原価	213,802	185,098
売上総利益	74,853	76,887
販売費及び一般管理費	50,828	48,856
営業利益	24,024	28,030
営業外収益		
受取利息	78	74
受取配当金	1,417	1,289
持分法による投資利益	467	918
為替差益	-	188
その他	470	800
営業外収益合計	2,433	3,271
営業外費用		
支払利息	648	613
固定資産処分損	982	1,438
操業休止等経費	421	947
為替差損	602	-
その他	1,084	1,002
営業外費用合計	3,739	4,002
経常利益	22,718	27,299
特別利益		
投資有価証券売却益	-	158
特別利益合計	-	158
特別損失		
事業整理損	801	-
合併関連費用	-	252
訴訟関連損失	-	2,997
特別損失合計	801	3,250
税金等調整前四半期純利益	21,916	24,208
法人税、住民税及び事業税	5,333	6,029
四半期純利益	16,582	18,178
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△117	△711
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,700	18,890

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	16,582	18,178
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	296	3,442
為替換算調整勘定	△1,806	△1,448
退職給付に係る調整額	354	△130
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	△341
その他の包括利益合計	△1,166	1,521
四半期包括利益	15,416	19,700
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,561	20,341
非支配株主に係る四半期包括利益	△145	△640

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結 損益 計算書 計上額 (注) 3
	エラスト マー・機 能樹脂	インフ ラ・ソ ーシャル ソリ ューシ ョン	電子・先 端プロダ クツ	生活・環 境プロダ クツ	ライフイ ノベーション	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	112,118	41,285	49,924	28,123	28,733	260,184	28,470	288,655	—	288,655
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	143	37	—	—	—	181	5,058	5,239	(5,239)	—
計	112,261	41,323	49,924	28,123	28,733	260,365	33,528	293,894	(5,239)	288,655
セグメント利益	8,158	350	8,502	5	6,332	23,349	754	24,103	(78)	24,024

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△78百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 地域ごとの売上高に関する情報

(単位：百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	170,760	78,959	38,935	117,894	288,655
連結売上高に占める割合 (%)	59.2	27.4	13.5	40.8	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基盤とし、国又は地域に分類しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結 損益 計算書 計上額 (注) 3
	エラスト マー・機 能樹脂	インフ ラ・ソ ーシャ ルソ リユ ーシ ョン	電子・先 端プロダ クツ	生活・環 境プロダ クツ	ライフイ ノベーション	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	86,420	38,392	51,494	25,592	36,611	238,510	23,474	261,985	—	261,985
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	104	20	—	—	1	126	4,338	4,465	(4,465)	—
計	86,524	38,412	51,494	25,592	36,613	238,637	27,813	266,451	(4,465)	261,985
セグメント利益	2,228	133	10,074	1,094	13,821	27,351	619	27,970	60	28,030

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額60百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域ごとの売上高に関する情報

(単位：百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	162,910	67,596	31,478	99,074	261,985
連結売上高に占める割合 (%)	62.2	25.8	12.0	37.8	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基盤とし、国又は地域に分類しております。

## 3. 補足情報

## 2020年度 第3四半期決算概要

2021年2月5日  
デンカ株式会社

## 1. 業績

(単位:億円)

	2020年度 第3四半期実績 (4-12月)	2019年度 第3四半期実績 (4-12月)	増 減	2020年度 通期予想 (4-3月)	2019年度 通期実績 (4-3月)
売上高	2,620	2,887	△ 267	3,500	3,808
営業利益	280	240	40	330	316
経常利益	273	227	46	300	300
親会社株主に帰属する当期純利益	189	167	22	220	227

## 2. 総括(前年同期比)

- 当社グループは、企業理念“The Denka Value”を実現すべく、3つの成長ビジョン「スペシャリティの融合体」「持続的成長」「健全な成長」を掲げ、2018年度より5か年の経営計画「Denka Value-Up」における2つの成長戦略「事業ポートフォリオの変革」と「革新的プロセスの導入」を推進し、業容の拡大と収益性向上に注力しております。
- 当第3四半期累計期間は、原材料価格下落に応じたスチレン系製品の販売価格を改訂したことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の主要製品で低調な出荷となりました。感染症の影響は、第2四半期以降、需要が回復傾向にあります。売上高は267億円減収の2,620億円(前年同期比9.2%減)となりました。  
利益面においても、クロロブレンゴムや検査試薬など一部の主要製品において、感染症による影響がありました。一方で、球状アルミナ、高純度導電性カーボンブラックなどのxEV関連製品の出荷が好調に推移し、5G関連やデータセンター需要の世界的な拡大により電子部品・半導体搬送用部材の高機能フィルム、半導体封止材向け溶融シリカファイバーなどの半導体関連製品の出荷が前年を上回りました。また、新型コロナウイルス抗原迅速診断キット“クイックナビ™-COVID19Ag”の販売を8月に開始しており、業績に大きく寄与しました。  
以上の結果から、営業利益は前年に比べて40億円増益の280億円となりました(同16.7%増)。経常利益は273億円(同20.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は189億円(同13.1%増)と、それぞれ前年比増益となりました。
- 第3四半期以降、クロロブレンゴムの需要回復が想定を上回っており、また、環境・エネルギー分野の需要も伸長しておりますが、足元での新型コロナウイルスの再拡大による見通しの不透明さもあることから、通期予想営業利益330億円を据え置くことと致しました。

## 3. 参考数値・前提

	2020年度 第3四半期実績	2019年度 第3四半期実績	増 減	2020年度 通期予想	2019年度 通期実績
投資	317	265	52	450	369
減価償却費	172	166	6	230	225
研究開発費	111	112	△ 1	160	150
有利子負債残高	1,400	1,268	132	1,410	1,343

	2020年度 第3四半期実績	2019年度 第3四半期実績	2020年度 通期予想	2019年度 通期実績
為替レート[円/\$]	106.1	109.1	106.1	109.1
国産ナフサ[円/k1]	29,360	42,600	30,150	42,650

## 4. セグメント別状況(前年同期比)

・ エラストマー・機能樹脂部門は、TVやモニターの導光板用途などでMS樹脂の販売が堅調に推移したものの、クロロプレングムが上期に受けた新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、減益となりました。

第4四半期は、クロロプレングムの需要回復が続くと見込んでおりますが、通期では前年比減益の見通しです。

・ インフラ・ソーシャルソリューション部門は、改定した価格の維持が寄与しましたが、セメントや特殊混和材、肥料、耐火物・鉄鋼用材料の販売が、感染症に加え天候不順の影響を受けたことから、前年を下回ったことなどにより、減益となりました。

第4四半期も、改定した価格の維持やコストの抑制に努め、通期で営業黒字を目指します。

・ 電子・先端プロダクツ部門は、5G関連やデータセンターの世界的な需要拡大で堅調な電子部品・半導体搬送用部材の高機能フィルムや半導体封止材向け溶融シリカファイバー、またxEV関連の球状アルミナ、高純度導電性カーボンブラックの販売が前年を上回り、増益となりました。

第4四半期も、xEV関連製品、半導体関連製品の好調な出荷が続くと見込まれることから、通期では前年比増益の見通しです。

・ 生活・環境プロダクツ部門は、感染症の影響を受けたプラスチック雨どいおよび合繊かつら用原糸“トヨカロン”、工業用テープの需要が回復基調にあるものの、販売数量は前年を下回りました。一方、テイクアウト需要の増加により、食品包材用シートおよびその加工品の販売は概ね堅調に推移し、原材料価格の下落や固定費削減が寄与したことなどにより、前年比増益となりました。

第4四半期は、原材料価格上昇が影響する恐れもありますが、通期では前年比増益の見通しです。

・ ライフイノベーション部門は、インフルエンザ診断キットの出荷が前年を下回りました。一方、インフルエンザワクチンは、早くから専門家や行政から予防接種が推奨されていたこともあり、昨年を上回る出荷となりました。加えて、8月に新型コロナウイルス抗原迅速診断キット“クイックナビ™ -COVID19 Ag”の販売を開始し、第3四半期の営業利益は、前年比大幅な増益となりました。

通期でも、新型コロナウイルス抗原迅速診断キットの寄与などにより、増益を見込みます。

連結売上高・営業利益(実績・予想)		2020年度 第3四半期実績	2019年度 第3四半期実績	増 減	2020年度 通期予想	2019年度 通期実績
エラストマー・ 機能樹脂	売上高	864	1,121	△ 257	1,150	1,493
	営業利益	22	82	△ 59	30	109
インフラ・ソーシャル ソリューション	売上高	384	413	△ 29	520	548
	営業利益	1	4	△ 2	5	3
電子・先端 プロダクツ	売上高	515	499	16	700	680
	営業利益	101	85	16	130	124
生活・環境 プロダクツ	売上高	256	281	△ 25	330	370
	営業利益	11	0	11	10	1
ライフ イノベーション	売上高	366	287	79	460	355
	営業利益	138	63	75	150	70
その他 消去差	売上高	235	285	△ 50	340	362
	営業利益	7	7	0	5	9
合計	売上高	2,620	2,887	△ 267	3,500	3,808
	営業利益	280	240	40	330	316

	売 上 高				
	2020年度 第3四半期実績	2019年度 第3四半期実績	増 減	数量差	
				販売価格差	数量差
エラストマー・機能樹脂	864	1,121	△ 257	△ 176	△ 81
インフラ・ソーシャルソリューション	384	413	△ 29	3	△ 32
電子・先端プロダクツ	515	499	16	△ 12	28
生活・環境プロダクツ	256	281	△ 25	△ 11	△ 15
ライフイノベーション	366	287	79	△ 1	80
その他	235	285	△ 50	-	△ 50
合計	2,620	2,887	△ 267	△ 197	△ 70

	営 業 利 益					
	2020年度 第3四半期実績	2019年度 第3四半期実績	増 減	数量差		
				販売価格差	数量差	コスト差
エラストマー・機能樹脂	22	82	△ 59	△ 176	△ 40	157
インフラ・ソーシャルソリューション	1	4	△ 2	3	△ 10	4
電子・先端プロダクツ	101	85	16	△ 12	20	8
生活・環境プロダクツ	11	0	11	△ 11	△ 8	30
ライフイノベーション	138	63	75	△ 1	86	△ 10
その他	7	7	0	-	1	△ 1
合計	280	240	40	△ 197	50	187